

親の会 だより

第87号

発行日：H27. 9. 11

発行

岩手県ことばを育む
親の会

会長：主演 友子

事務局

盛岡市立桜城小学校

きこえとことばの教室内

地域に根ざした親の会活動を

岩手県ことばを育む親の会会長 主演 友子

六月十三日開催の岩手県ことばを育む親の会結成五十周年記念大会は、おかげさまで、成功裡に終えることができました。これも、ひとえに実行委員、会員の皆様方のご支援、ご協力の賜物と深く御礼申し上げます。ありがとうございます。

当日は、福祉、教育関係の方々、ことばの教室等設置校の校長先生方、全国の親の会の方々、報道関係の方々にも、お忙しい中ご臨席賜り、感謝の思いで一杯です。

さて、大会後の七月十一日の県親の会総会で、佐々木信孝会長の後を引き継ぎ、第五代会長をお引き受けすることになりました主演友子と申します。新二役も決定し新たな体制でのスタートとなりましたこと併せてご報告いたします。どうぞよろしく願います。

平成二十五年度には親の会の悲願であった、全市町村に「ことばの教室」設置が達成できました。しかしながら、喜んでばかりもいられません。全市町村設置が実現できても、この教育を断念せざるをえない子どもさんが数多く存在している事実があります。

子どもや保護者が安心して通級出来る体制づくり、加えて、就学前幼児のための「幼児教室」の設置要望等、解決していかなければならない課題は山積しています。この教育を必要としている子ども達のために、こちらから「だれでもいつでも、どこでも」この教育が受けられるよう、親の会活動を進めていきたいと考えております。

各支部におかれましては、それぞれの課題を把握し、目標を立て、親の会活動を充実させていただきたいと思えます。県本部としては支部間での活発な交流と地域に根ざした親の会活動の推進を図って参りたいと考えております。ご協力の程宜しく願います。

《岩手県ことばを育む親の会 結成五十周年記念大会》

六月十三日(土)、岩手県民会館(中ホール)に於いて、岩手県ことばを育む親の会結成五十周年記念大会が開催されました。県内の会員や教育関係者など、総勢五百八十一名の参加がありました。また、サンセール盛岡に会場を移し、祝賀会も盛大に行われました。

この大会には、初代会長・故落合新作さんの奥様ハルさんと二代目会長・故成田廣邦さんの奥様妙子さんにもご参加頂きました。学習会でお二人からは会の設立当時のお話をお聞きすることができました。また、岩手県初のことばの教室担任の菊池義勝先生からは、教室を広めてきた活動の様子や親の会の今後の方向性についてお話し頂きました。

記念講演は、桜美林大学の山口 創(はじめ)専任教授に「子どもの『脳』は肌にある」と題し、親子のスキンシップの大切さについて教えて頂きました。人間の皮膚になる部分と脳になる部分は同じ部分にあり、皮膚は情報処理器官とも考えられる様になってきたそうです。そのことから、皮膚と皮膚が触れ合うスキンシップは、子どもの情緒を安定させ豊かな関わりをもてるようにする土台をつくるために大事なことだと教えて頂きました。

この大会を通じて、これまでの五十年を振り返るとともに、これからも、あゆみを止めず更なる発展を共にめざそうという思いを強くした大会でした。

【受賞団体】

本会の活動を永年支えて頂いた二つの団体に感謝状を贈呈しました。

- 岩手県難聴言語障がい教育研究会 様
- 岩手のことばを語る会 様

